

氏名	善生 まり子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程（健康看護学）、2018年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程（看護生涯教育学）				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科（看護師）、1992年富士宮市役所保健センター（保健師）、1996年秋田市医師会立秋田看護学校（専任教員）、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科（助手）、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター（看護師：非常勤）、保健同人社 電話相談（保健師：非常勤）、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科（助手）、2005年同大学（講師）、2014年同大学（准教授）、2021年同大学（教授）				
所属学会（役職）	日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護学会、日本在宅ケア学会、日本認知症ケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本老年看護学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本サルコペニアフレイル学会、日本地域看護学会、日本看護歴史学会、みんなの認知症情報学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶ：利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携	共著	あり	中央法規出版株式会社、306頁	埼玉県立大学編集	2022年4月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	独居の認知症高齢者への認知症の症状の進行段階に合わせた支援 地域包括支援センター看護職のインタビューより	共著	あり		日本地域看護学会誌、25（2）、13-22	林純子、林裕栄、 <u>善生まり子</u> 、張平平
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	一般病院における男性看護師のキャリア発達-男性看護管理者へのインタビュー調査から-	共同		日本看護管理学会、福岡市	○桑原直弥、林裕栄、 <u>善生まり子</u> 、江口のぞみ	2022年7月
2	一般病院の看護チームにおける連携・協働の課題-看護師、准看護師、看護補助者の高齢者の尊厳に係る認識の違いを通して-	共同		日本看護管理学会、福岡市	○ <u>善生まり子</u> 、佐藤美香子、真々田美穂、松元智恵子、林裕栄	2022年7月
3	アメーバ・ナーシング・システム(ANS)導入後の看護補助者の看護チームにおける働く意識の変化	共同		日本看護管理学会、福岡市	○佐藤美香子、 <u>善生まり子</u> 、今木恵子、松元智恵子、真々田美穂	2022年7月
4	一般病院の高齢者ケアに係る看護職及び看護補助者による看護チームの連携と協働の課題	共同		日本看護科学学会、広島市	○ <u>善生まり子</u> 、佐藤美香子、真々田美穂、阿部真純	2022年12月
5	看護補助者を魅力ある職業とするための方策	共同		全日本病院学会、静岡市	○真々田美穂、 <u>善生まり子</u>	2022年10月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	2021年3月卒業生に対する就職後1年以内の退職者数に関する調査結果	共著		https://www.janpu.or.jp/ （一般社団法人日本看護系大学協議会ホームページPDF掲載）	吉沢豊子、石橋みゆき、鎌倉やよい、 <u>善生まり子</u> 、縄秀志、細田泰子、前田修子、森山美知子（看護学教育質向上委員会）*全員発表	2022年4月

2	草加市男女共同参画プラン2021 年次報告書及び達成状況の評価【令和3年度事業】「第2部 達成状況の評価」p44-53	共著	https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1402/020/12/nennzihyouka.pdf (草加市ホームページPDF掲載)	加藤由美子、清水秀逸、清水光子、長谷川清治、榎本美智子、星島由香、岡本喜久子、谷口慎一、安原陽平、善生まり子、岡田卓也、堀美紀子、大場秀樹*全員発表	2022年4月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)		インクルーシブ高齢者ケアに係る看護チーム業務分担・協働を支援するAI導入実証研究	研究代表者	2022年4月～2025年3月
2	公立大学法人埼玉県立大学共同研究		一般病院の看護業務における人為的過誤を未然に防ぐためのAIロボット応用に関する研究	研究代表者	2022年4月～2023年3月
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学Ⅳ (地域ケアシステム)		2	老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割に関して、グループワーク・全体共有に関するファシリテーションを実施した。	
2	IPW論 (専門職連携実践論) ① 博士前期課程		4	リアルタイム方式のオンライン学習により、「保健医療福祉分野における専門職連携教育 (IPE)」を担当し、学生時代及び就業体験後のIPWの振り返りを促し、最終的な成果発表に寄与した。事例検討発表会及び全体討議のファシリテーションを行った。また、授業運営に積極的にかかわり科目責任者をサポートした。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学Ⅱ (援助技術)	○	15	科目責任者として、新型コロナウイルス感染症の流行状況及び大学方針を照らし合わせ、対面 (高齢者模擬体験) とリアルタイム配信の講義・演習と組み合わせで授業を運営した。学生が、老年看護学実習Ⅱにおける実在の事例へ看護援助が行えるよう、先んじて、要介護状態にある高齢者への援助技術を多角的に学べるよう工夫した。老年看護学領域教員によるオムニバス形式の演習とした。活動能力が低下した高齢者への援助、認知症のある高齢者への援助、嚥下・口腔機能の低下した高齢者への援助、パーキンソン病のある高齢者の援助等、グループワーク、体験、講義聴講を組み合わせた。	
2	看護学特別研究Ⅰ		通年	担当学生 (博士前期課程) 1名について、看護実践・研究・教育を発展させる研究課題を決定し、その課題に適した研究方法を探究し、研究計画を立案に関して教授した。遠隔・面接授業の併用で行った。	
3	看護学特別研究Ⅱ		通年	担当学生 (博士前期課程) 1名について、デザイン発表、中間発表、修士論文作成に関する一連の指導を行った。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学実習Ⅰ		2022年4月～6月	科目担当者として、実習施設である公立の老人福祉センターにおいて、学生が利用者とのコミュニケーションの機会、施設見学等を通して高齢者の心身・社会的側面の理解が深まるよう、実習指導者との連絡調整を密に行い、毎回のカンファレンスに参加した。	

2	老年看護学実習Ⅱ	○	2022年10月～12月	科目責任者として、実習施設への依頼・実習指導者会の運営、学生への実習オリエンテーション開催等、統括している。型コロナウイルス感染症の流行状況及び大学方針を照らし合わせ、各実習施設との綿密な連絡・調整により、現在、臨地（医療機関または介護老人保健施設）での実習を行っている。学生の受け持つ事例（高齢患者）の選定及び、臨床現場での学生の看護援助、各種カンファレンス運営は、実習指導者と教員共に行い、学生の主体性が伸びるよう、実践中及び実践後のリフレクションをファシリテートしている。1クール2週間、学生5～6名を担当し、それを4クール行った。
3	総合実習		2022年4月～7月	学生の主体的な学習態度を形成でき、実習展開を促進する目的で、文献抄読会及び実習計画作成等のゼミを6回行い、個別・グループ指導した。対面実習のため、実習指導者との事前連絡調整を綿密に行い、学生の看護実践能力に関わる課題および実習目標を共有し、実習のあり方について相互に理解できるよう努めた。
4	IPW実習		2022年8月～10月	リアルタイム方式のオンライン学習により、埼玉医科大学の学生を含めて6名担当し、紙上事例の展開を通して、チーム形成、専門職連携の体験を促した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022年4月～2023年1月	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2021年4月～2023年3月	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	博士前期課程1名の副査	2022年9月～2023年2月	博士前期課程の副査として、主査と協力して該当修士論文の審査並びにブラッシュアップをサポートした。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	メディカルトピア草加病院看護研究指導（対面開催）	メディカルトピア草加病院看護部	4つの看護研究課題について、看護研究指導を行った。院内の研究発表後、院外の学術集会または研究会への発表、論文作成を支援した。	2022年4月～7月、 2023年1月～3月
2	メディカルトピア草加病院看護研究発表会講評（対面開催）	メディカルトピア草加病院看護部	4つの看護研究課題（看護部長、2つの病棟、外来）について、院内研究発表の講評を行った。	2022年7月
3	IPW総合課程（オンライン開催：リアルタイム配信）	埼玉県立大学	IPW総合課程（8日程）の運営を実施した。講師としては、IPW実践の検討（チーム活動のファシリテーター）IPEの現状・成果・課題を担当した。	2022年8～12月
4	多職種連携基礎研修（対面開催）	埼玉県立大学	リフレクション講義 リフレクションのアクティビティ担当	2023年2月
5	産学連携と研究シーズ（Web・冊子）	埼玉県立大学	看護チーム連携とインクルーシブケア促進の研究	2022年4月
6	獨協医科大学埼玉医療センター看護部 クリニカルラダーⅢ看護研究Step1研修講師（オンライン開催：リアルタイム配信）	獨協医科大学埼玉医療センター看護部	看護師8名の個々人の看護研究指導（3回、20分/人/回）を行った。研究テーマ決定から研究計画作成まで。	2022年9～11月
7	公益社団法人 埼玉県看護協会看護職研修	公益社団法人 埼玉県看護協会	看護研究における指導者の役割（5時間、講師）	2022年6月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	草加市総合政策部 人権共生課	草加市男女共同参画審議会委員	2019年4月～2023年3月	
2	草加市健康福祉部 長寿支援課	草加市高齢者福祉センター選考委員会選考委員長	2022年8月～2022年10月	
3	一般社団法人日本看護系大学協議会	看護学質向上委員会委員	2020年8月～2022年8月	
4	ANS研究会 (ANS:アメンバーナーシングシステム)	ANS研究会顧問	2021年10月～2023年3月	
5	新型コロナウイルス感染症対策に係る埼玉県保健所応援	埼玉県保健師応援業務	2020年12月～2022年8月	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	ANS研究会	ANS研究会会報誌執筆 (4ページ)	2023年3月
2	地域貢献活動	ANS研究会	ANS研究会定例会に3回/年参加し、毎回、会員の討議についてコメントした。	2022年4月～2023年1月
3	地域貢献活動	獨協医科大学埼玉医療センター	共同研究者「大学病院の外来における在宅療養支援システムの構築と外来看護師の変化」(研究代表者 看護副部長 松元智恵子氏)	2021年9月～2023年12月
4	産業支援	ラジエンスウエア社	埼玉県立大学共同研究「一般病院の看護業務における人為的過誤を未然に防ぐためのAIロボット応用に関する研究」を通して、ラジエンスウエア社による看護業務のサポートロボットの開発を支援している。毎月1回定例ミーティング(オンライン)開催。	2022年4月～2023年3月
5	地域貢献活動	富士宮市中心身障害児家族会 さんざしの会	さんざしの会の賛助会員として会の活動をサポートしている。	通年
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員として活動した。		2022年4月～2023年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会部会長として活動した。		2022年4月～2023年3月
3	学科等における委員会等	BOX運用プロジェクトチームとして活動した。		2023年1月～3月
4	全学的委員会及びセンター業務等	名誉教授選考委員会委員として活動した。		2023年3月
5	学生支援	4年編入担任としての定期的個別面談(就職支援、学生生活の相談、人間関係、履修相談等)を行った。特に、メンタルケア1名、就職活動支援6名、履修登録支援1名、助産系履修脱落者1名、助産師国家試験不合格者1名に対しては、適宜、指導・支援した。		2022年4月～2023年2月
6	学生支援	卒業式看護学科卒業証書授与式の運営をサポートした。		2023年2月～3月
7	大学広報活動	6月オープンキャンパスにて教員相談を担当した。		2022年6月
8	全学的委員会及びセンター業務等	教員採用選考にかかる資格審査会委員を担当した。		2022年7月～8月
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	新型コロナウイルス感染症対策に係る埼玉県保健所応援に係るお礼状を拝受した。(2023年3月)			
2	埼玉県立大学共同研究「一般病院の看護業務における人為的過誤を未然に防ぐためのAIロボット応用に関する研究」に関する完了報告書を作成し、研究依頼者「ラジエンスウエア社」へ提出した。			